

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	57.6%	令和07年度の改善の取り組み	Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 河辺いきものの森での団体利用（やまのこ森林環境学習、モリイコ、学校等）を例年どおり受け入れることができた。 布引の森は、環境教育の場として小学校等の団体受入や里山をいかした各種プログラムを実施した。 里山保育は市民団体との協働で17園を対象に実施するとともに、指導者の育成に取り組んだ。実施園の拡大と事業継続のためには、今後も指導者の育成が必要である。森里川湖体験事業は、本市の小学生に対して、豊かな自然や地域資源をいかした多様な体験の場を提供した。		<改善内容> 河辺いきものの森は、林冠トレイル大規模修繕に向けて準備を進める。 布引の森は、河辺いきものの森と連携を図りながら、環境教育や里山の魅力を伝えるプログラムを展開していく。 里山保育は、さらに実施園を増やすため、市民団体と協働し指導者を着実に育成するとともに、身近な自然とその活用を学び、本市の資源である自然環境の保全と活用を実践する市民を増やす。森里川湖体験事業は、本市の小学生に対し、豊かな自然や地域資源をいかした多様な体験を提供する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持		財源		令和8年度以降 里山保育実施園の拡大による事業費の増		
			見直して継続		拡大 ☐		令和8年度 河辺いきものの森林冠トレイルの修繕に伴う事業費の増		
			拡大 ☐		現状				
			縮小		削減				
			事業統合 手段見直		人員				
		休止・廃止		拡大					
				現状 ☐					
				削減					
		完了							

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標	:05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち	指 標 名	自然環境・環境保全に対する満足度	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	8055	
○基本的政策	:07環境への負荷を軽減するまちをつくります	指標の目標値	30.0%	目標年（ 令和07年度 ）	算出方法	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	森と水政策課	
○施策	:01循環共生型まちづくりの推進	関係法令 市 条 例 等	東近江市民の豊かな環境と風土づくり条例（環境基本条例）			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市地域福祉計画	作 成 者	小西 茂喜	
事務事業名		事務事業概要	本市の豊かな自然や環境、生物の多様性などを保全し、それを継承していくため、環境基本条例、第2次東近江市環境基本計画に基づいて施策を進めます。また、各種協議会等への参加により、情報を収集し、関係市町や団体との連携や協働による啓発活動を行い、市民の環境意識の向上を目指します。					予 算	会 計 名	一般会計
循環共生型まちづくり推進事業								大 事 業 コード	040000	
								款 項 目	020113	

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画														
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度				令和08年度				令和09年度						
	1 環境審議会の開催 ・第3次環境基本計画策定 1回R6.10.3、2回R6.12.26、3回R7.3.24				1 環境審議会の開催 ・第3次環境基本計画策定				1 環境審議会の開催				1 環境審議会の開催						
	2 第2次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会 1回R6.8.1、2回R6.9.19、3回R6.11.18、4回R7.2.25 ・環境円卓会議の開催 R7.1.18				2 第2次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会				2 第3次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会 ・環境円卓会議の開催				2 第3次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会						
	3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト モニター65人、11事業所、12公共施設 ・ライトダウンキャンペーン R6.6.21、R6.7.5 ・夏休み子どもエコクラブ R6.8.8 参加16人 ・ECOまつり R6.11.3 ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 R6.10.28 参加29人 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動)22園、744人 ・小2エコクラブ(市内小学校への環境啓発活動)9校 445人				3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・ECOまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)				3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・ECOまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)				3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・ECOまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)						
	4 滋賀グリーン活動ネットワークへの参画				4 滋賀グリーン活動ネットワークへの参画				4 滋賀グリーン活動ネットワークへの参画				4 滋賀グリーン活動ネットワークへの参画						
指標の年度目標値					30.0%					30.5%					31.0%				
事業の優先度					B														
事業の財源		決算額 6,845千円		国庫支出金		0千円		予算額 4,260千円		国庫支出金		0千円							
				県支出金		282千円				県支出金		300千円							
				市債		0千円				市債		0千円							
				その他		0千円				その他		0千円							
				一般財源		6,563千円				一般財源		3,960千円							
職員数/人件費		正	1.62人	会計任	0人	11,306千円	正	1.57人	会計任	0人	10,586千円								

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価												
指標の年度実績		Do 2	29.0%		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> 環境審議会及び環境円卓会議運営委員会において、第3次環境基本計画の策定を進めるとともに、環境円卓会議（市民フォーラム）を開催し、地域の課題を共有・検討した。 さわやか環境づくり協議会では、新たな会員を勧誘し、R7から加入していただけることとなった。また、環境に関するイベントを開催し、啓発活動を行った。		<改善内容> 環境審議会及び環境円卓会議運営委員会を開催し、第3次環境基本計画の策定を行い、R8.4.1からの運用開始の準備を進める。 さわやか環境づくり協議会の活動や参画について新たな会員の勧誘を継続して行い、広く活動を周知する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
							現状維持		財源		令和8年度以降 第3次環境基本計画策定の完了に伴う事業費の減	
							見直して継続					
							拡大					
							縮小					
							事業統合					
							手段見直		人員			
							休止・廃止					
完了												
				拡大								
				現状		○						
				削減								

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち		指 標 名	自然環境・環境保全に対する満足度	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	8067		
○基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります		指標の目標値	30.0%	目標年（ 令和07年度 ）	算出方法	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	森と水政策課		
○施策 :01循環共生型まちづくりの推進		関係法令 市 条 例 等	東近江市民の豊かな環境と風土づくり条例（環境基本条例）、東近江市自然環境及び生物多様性の保全に関する条例			関連計画	東近江市環境基本計画	作 成 者		小西 茂喜	
事務事業名 生物多様性保全再生事業		事務事業概要	市民や各種団体と協働して、生活環境、自然環境や歴史・文化的環境を保全するための事業を実施し、市民の環境に対する意識を向上するための啓発を行い、快適で住みよい環境を創出します。					予 算		会 計 名	一般会計
								大 事 業 コー ド		050000	
								款 項 目	020113		

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画								
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度			令和08年度		令和09年度			
	1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ ヨシ群落の保全 ヨシ刈り R6.12.14、ヨシ焼き R7.1.19 ・ 伊庭内湖周辺の清掃活動 R7.2.7 ・ 外来魚の駆除活動 外来魚の駆除釣り大会 R6.6.16 ・ 特定外来水生植物の駆除活動 7回 駆除量 670kg ・ 水鳥観察会の支援 R7.2.1 ・ 湖辺環境保全清掃活動 能登川漁業協同組合 4回 260kg 栗見プロジェクト				1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ ヨシ群落の保全 (ヨシ刈り、ヨシ焼き) ・ 伊庭内湖周辺の清掃活動 ・ 外来魚の駆除活動 ・ 特定外来水生植物の駆除活動 ・ 水鳥観察会の支援 ・ 湖辺環境保全清掃活動			1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ ヨシ群落の保全 (ヨシ刈り、ヨシ焼き) ・ 伊庭内湖周辺の清掃活動 ・ 外来魚の駆除活動 ・ 特定外来水生植物の駆除活動 ・ 水鳥観察会の支援 ・ 湖辺環境保全清掃活動		1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ ヨシ群落の保全 (ヨシ刈り、ヨシ焼き) ・ 伊庭内湖周辺の清掃活動 ・ 外来魚の駆除活動 ・ 特定外来水生植物の駆除活動 ・ 水鳥観察会の支援 ・ 湖辺環境保全清掃活動			
	2 鈴鹿国定公園整備事業 ・ 鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・ 永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託)				2 鈴鹿国定公園整備事業 ・ 鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・ 永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託)			2 鈴鹿国定公園整備事業 ・ 鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・ 永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託)		2 鈴鹿国定公園整備事業 ・ 鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・ 永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託)			
	3 生物多様性の取組 ・ 生物多様性調査の実施 (魚類) R6.8.24 15人 (植物) R6.11.10 13人 ・ 希少種保護活動 ・ 自然共生サイト認定 (IHI) R6.9.27 ・ ネイチャーポジティブ宣言 R7.2.16				3 生物多様性の取組 ・ 生物多様性調査の実施 ・ 特定外来植物の駆除 ・ 希少種保護活動 ・ 生物多様性保全の方針検討			3 生物多様性の取組 ・ 生物多様性調査の実施 ・ 特定外来植物の駆除 ・ 希少種保護活動		3 生物多様性の取組 ・ 生物多様性調査の実施 ・ 特定外来植物の駆除 ・ 希少種保護活動			
	指標の年度目標値 29.5%				30.0%			30.5%		31.0%			
	事業の優先度 B				B								
	事業の財源		決算額 2,723千円		国庫支出金	0千円		予算額 2,819千円		国庫支出金	0千円		
県支出金					0千円		県支出金			0千円			
市債					0千円		市債			0千円			
その他					2,310千円		その他			2,310千円			
一般財源					413千円		一般財源			509千円			
職員数/人件費		正	1.13人	会計任	0.05人	7,904千円		正	1.33人	会計任	0.05人	9,185千円	

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価											
指標の年度実績 Do 2		29.0%		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 伊庭の里湖づくり協議会では、外来魚駆除、特定外来水生植物の早期発見、早期駆除の取組やヨシ保全活動を行った。 鈴鹿国定公園整備事業では、国定公園の登山道の整備を永源寺地区まちづくり協議会に、集団施設地区内の園地の管理をシルバー人材センターに委託して実施した。 生物多様性の取組では、希少種について県や専門家と情報共有をしながら保護活動を行った。生物多様性保全の本市の方針の検討が必要である。		<改善内容> 環境保全活動や生物多様性調査を通して、自然環境に興味を持ってもらい、環境保全に関する人材を育成するために継続して活動する。 今後も県や専門家と情報共有をしながら保護活動を継続し、生物多様性保全の方針を検討していく。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
						現状維持		財源			
						見直しして継続		拡大		現状	
						拡大		削減		人員	
						縮小				拡大	
						事業統合				現状	
						手段見直し				削減	
						休止・廃止					
完了											

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

令和06年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :02脱炭素社会の推進

事務事業名
菜の花エコプロジェクト推進事業

指 標 名	再生可能エネルギー発電設備導入容量	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	92		
指標の目標値	140,000kW	算出方法		○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	森と水政策課		
関 係 法 令 市 条 例 等	東近江市あいとうエコプラザ菜の花館条例			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市バイオマスタウン構想、東近江市地域福祉計画	作 成 者		小西 茂喜	
事務事業概要	地域の活力を高め、環境と調和した資源循環型の地域づくりを進めるため、菜種の栽培から収穫、搾油、食用、廃食油回収、ＢＤＦ精製活用という一連の地域内資源循環プロジェクト（菜の花エコプロジェクト）の推進を図ります。					予 算		会 計 名	一般会計
								大 事 業 コード	060000
						款 項 目	020113		

令和06年度 事務事業実績

令和07年度 実施計画

主な事業内容 <

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	134,369kw (R6.12現在)	令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 環境学習拠点施設として関係機関に対し環境学習プログラムを実施した。 BDFの使用が依然として限定的であるため、BDFと廃食油を使用した発電システムの実証実験などを通じた使用拡大への取組が必要である。	<改善内容> 引き続き教育委員会やコミュニティセンターなどに効果的な環境学習の場を提供するため、事業の周知と学習プログラムの検討を行う。 BDF精製業者とも連携しながら、使用拡大のための施策を検討する。 もみがらくん炭の地域内活用とクレジット化の推進を図る。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
				現状維持	○	財源					
				見直しして継続							
				拡大			拡大				
				縮小			現状	○			
				事業統合			削減				
				手段見直し			人員				
				休止・廃止		拡大					
				完了		拡大					
						現状	○				
						削減					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち		指 標 名	再生可能エネルギー発電設備導入容量	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	206	
○基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります		指標の目標値	140,000kW	算出方法		○ 継続	ハード	担 当 課 名	森と水政策課	
○施策 :02脱炭素社会の推進		関係法令 市 条 例 等	地球温暖化対策の推進に関する法律、東近江市環境にやさしい暮らし普及促進奨励金支給要綱			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市次世代エネルギーパーク構想			
事務事業名		事務事業概要	地球温暖化対策を推進するため、「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市が率先して取組を進めるとともに、低炭素型ライフスタイルの変革を促すよう身近な取組を通じた市民啓発を行います。				予 算	会 計 名	一般会計	
地球温暖化対策・再生可能エネルギー促進事業								大 事 業	コード	070000

令和06年度 事務事業実績						令和07年度 実施計画														
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度					令和07年度					令和08年度					令和09年度				
	1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 4件 ・コージェネレーションシステム設置奨励金10件 ・蓄電システム設置奨励金 75件 ・太陽熱温水器設置奨励金 3件 2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 研修会 R6.5.15 (配信併用) 監査会 R7.1.30、R7.1.31 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理 3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進					1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金 2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理 3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進					1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金 2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理 3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進					1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金 2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理 3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進				
	指標の年度目標値					133, 200kW					140, 000kW					145, 000kW				
	事業の優先度					B					B									
	事業の財源		決算額 4, 894千円		国庫支出金		0千円		予算額 5, 260千円		国庫支出金		0千円							
県支出金					0千円		県支出金				0千円									
市債					0千円		市債				0千円									
その他					4, 000千円		その他				0千円									
一般財源					894千円		一般財源				5, 260千円									
職員数/人件費		正	0.83人	会計任	0.5人	6, 810千円		正	0.84人	会計任	0.5人	6, 866千円								

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価												
指標の年度実績		Do 2	134,369kw (R6.12現在)		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> 環境にやさしい暮らし普及促進事業により再生可能エネルギー発電設備等の普及促進を図ることができた。 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』に全庁で取り組み、研修会や監査会等を通じて地球温暖化対策を推進した。目標値達成のため、DXによる二酸化炭素削減など、多角的な対策を検討する必要がある。		<改善内容> 再生可能エネルギーの導入や地球温暖化対策について情報収集を行い、地球温暖化対策実行計画への位置づけと本市における実施について検討する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
							現状維持		財源			
							見直して継続					
							拡大			拡大		
							縮小			現状		
							事業統合		削減			
							手段見直					
							休止・廃止		人員			
完了		拡大		現状								
		削減										

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	386人	令和07年度の改善の取り組み	Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分																																													
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 100年の森づくりビジョンの取組を評価し更に推進するため、改定を行った。 森里川湖エコツーリズムガイド養成講座を述べ8日間の日程で実施し、新たに9名をガイドとして認定した。 登山者向け看板の設置やビジターセンターにおける登山者案内を実施した。 SEA TO SUMMITを開催した。 鈴鹿10座の活用を通じて環境意識等を醸成するため、登山者向け施設の拡充が必要である。	<改善内容> 鈴鹿10座の登山やエコツアーの利便性を高めるバイオトイレを新設するとともに、引き続き効果的な設置箇所の検討を進める。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業の方向性</th><th colspan="2">資源(財源・人)の配分</th><th rowspan="2">事業の方向性と資源の配分の内容</th></tr> <tr> <th>現状維持</th><th>〇</th><th>財源</th><th></th></tr> <tr> <td rowspan="4">見直して継続</td><td>拡大</td><td></td><td>拡大</td><td></td></tr> <tr> <td>現状</td><td>〇</td><td>現状</td><td></td></tr> <tr> <td>縮小</td><td></td><td>削減</td><td></td></tr> <tr> <td>事業統合</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>手段見直</td><td></td><td>人員</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>休止・廃止</td><td></td><td>拡大</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>現状</td><td>〇</td><td></td></tr> <tr> <td>完了</td><td></td><td>削減</td><td></td><td></td></tr> </table>	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	〇	財源		見直して継続	拡大		拡大		現状	〇	現状		縮小		削減		事業統合				手段見直		人員			休止・廃止		拡大					現状	〇		完了		削減		
		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容																																												
		現状維持	〇	財源																																														
		見直して継続	拡大		拡大																																													
			現状	〇	現状																																													
縮小			削減																																															
事業統合																																																		
手段見直		人員																																																
休止・廃止		拡大																																																
		現状	〇																																															
完了		削減																																																

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち		指 標 名	特定地域における浄化槽法定検査（法第11条）受検率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	226	
○基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります		指標の目標値	92.4% 目標年（ 令和07年度 ）	算出方法		○ 継続	ハード	担 当 課 名	生活環境課	
○施策 :03し尿の適正管理		関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法			関連計画	八日市ライフ組合 一般廃棄物処理基本計画、東近江市生活排水処理基本計画、東近江市一般廃棄物処理実施計画	作 成 者	田中 和則	
事務事業名		事務事業概要	快適で衛生的な生活を営むため、処理施設組合に負担金を支出し、し尿の適正処理と環境衛生の保全を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
汚水処理対策事業									大 事 業 コード	050000
							款 項 目	040201		

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画																				
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度				令和08年度				令和09年度												
	1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合 し尿処理量 3,589k1 浄化槽汚泥処理量 15,268k1				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合												
	2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）												
	3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置への補助 0基				3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助				3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助				3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助												
	4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助 永源寺地区11組合 398基				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助												
	5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上 11条検査受検率 合併処理浄化槽管理組合を置く地域 95.6%				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上												
	6 浄化槽台帳の整備 ・浄化槽台帳システムのデータ更新				6 浄化槽台帳の整備				6 浄化槽台帳の整備				6 浄化槽台帳の整備												
	7 浄化槽関連の届出の受理 4件				7 浄化槽関連の届出の受理				7 浄化槽関連の届出の受理				7 浄化槽関連の届出の受理												
指標の年度目標値					92.2%					92.1%					92.3%					92.5%					
事業の優先度					B					B															
事業の財源		決算額		291,126千円		国庫支出金		0千円		予算額		国庫支出金		1,298千円											
						県支出金		3,602千円				県支出金		5,398千円											
						市債		0千円				市債		0千円											
						その他		0千円				その他		0千円											
						一般財源		287,524千円				一般財源		287,063千円											
職員数/人件費		正		0.96人		会計任		0人		6,588千円		正		0.92人		会計任		0人		6,409千円					

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価														
指標の年度実績		Do 2	91.9%		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 浄化槽台帳システムの更新作業を効率よく正確に行うために、保守点検や清掃情報のデータ処理方法の検討を行った。法定検査情報はデータ更新ができるよう整備し、作業の効率化と浄化槽台帳の精度を上げた。			<改善内容> 浄化槽の更新情報の件数が多く、保守点検や清掃情報の浄化槽台帳システム入力作業において、効率化が必要である。浄化槽の適正管理につながるよう、啓発方法を検討し法定検査受検率を向上させる必要がある。			事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容		
								現状維持		○	財源			
								見直しして継続						
								拡大			拡大			
								縮小			現状	○		
								事業統合		削減		人員		
								手段見直						
								休止・廃止			拡大		現状	○
								完了			削減			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

令和06年度 事務事業評価

- **基本目標** :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- **基本的政策** :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- **施策** :04公害防止対策の推進

事務事業名

環境調査事業

指 標 名	公害苦情件数		指 標	成果指標一覧のとおり		新規	○ ソフト	事務事業コード	441	
指標の目標値	160件		算出方法			○ 継続	ハード	担 当 課 名	生活環境課	
関 係 法 令 市 条 例 等	東近江市の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法					関連計画	－	作 成 者	田中 和則	
事務事業概要	良好な生活環境を確保するため、「東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例」に基づき、河川や大気などの生活環境を調査し、事業者や市民への啓発を行います。							予 算	会 計 名	一般会計
									大事業コード	080000
						款 項 目	020113			

令和06年度 事務事業実績

令和07年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度					令和07年度					令和08年度					令和09年度							
	1 環境調査業務 ・河川水質調査 40地点12箇月実施					1 環境調査業務 ・河川水質調査					1 環境調査業務 ・河川水質調査					1 環境調査業務 ・河川水質調査							
	2 公害発生源調査 ・事業所悪臭検査 1事業所					2 公害発生源調査 ・事業所検査					2 公害発生源調査 ・事業所検査					2 公害発生源調査 ・事業所検査							
	3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 133件					3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理					3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理					3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理							
	4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・工場等への環境法令遵守状況調査及び立入調査 13件					4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査					4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査					4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査							
	5 自動車騒音の常時監視 4路線 32.6km					5 自動車騒音の常時監視					5 自動車騒音の常時監視					5 自動車騒音の常時監視							
	6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 134件					6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処					6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処					6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処							
	7 鼠族、昆虫駆除					7 鼠族、昆虫駆除					7 鼠族、昆虫駆除					7 鼠族、昆虫駆除							
	8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 67件					8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理					8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理					8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理							
	9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結 1件					9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結					9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結					9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結							
指標の年度目標値		118件					131件		128件					125件									
事業の優先度		B					B																
事業の財源		決算額 24,554千円		国庫支出金		0千円		予算額											国庫支出金		0千円		
				県支出金		0千円		県支出金											0千円				
				市債		0千円		市債											0千円				
				その他		0千円		その他											0千円				
				一般財源		24,554千円		一般財源		27,623千円													
職員数/人件費		正	0.92人	会計任	0人	6,468千円	正	0.97人	会計任	0人	6,682千円												

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績		Do 2	134件	令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分							
事務事業の改善内容 Check 3				<成果・課題> 公害苦情に関し、原因者への指導により一定の効果があった。長期的な苦情案件の進展が課題である。		<改善内容> 苦情主及び原因者双方が、納得のいくような指導を行う。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容		
								現状維持		○	財源			
								拡大		拡大		現状		○
縮小		削減												
事業統合														
手段見直														
休止・廃止				拡大		現状		○						
完了				削減										

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

令和06年度 事務事業評価

- **基本目標** :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- **基本的政策** :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- **施策** :05斎場・墓地の適正管理

事務事業名

斎場・墓地管理運営事業

指 標 名	市営墓地の維持管理に係る改善要望件数	指 標	－	新規	○ ソフト	事務事業コード	408
指標の目標値	0件	算出方法	目標年（ 令和07年度 ）	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	生活環境課
関 係 法 令	墓地・埋葬等に関する法律			関連計画	－	作 成 者	田中 和則
市 条 例 等							
事務事業概要	火葬施設の管理運営をする組合に負担金を支出し、施設の適切な管理運営を図ります。						
						予 算	会 計 名 一般会計
							大事業コード 010000
							款 項 目 040105

令和06年度 事務事業実績

令和07年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度					令和07年度					令和08年度					令和09年度																								
	1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・ 八日市布引ライフ組合 火葬件数 1,335件										1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・ 八日市布引ライフ組合										1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・ 八日市布引ライフ組合										1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・ 八日市布引ライフ組合									
	2 墓地の管理 ・ 布引山霊苑（瓜生津町：全923区画）新規4件 ・ 能登川墓地公園（佐野町：全720区画）新規4件										2 墓地の管理 ・ 布引山霊苑（瓜生津町：全923区画） ・ 能登川墓地公園（佐野町：全720区画）										2 墓地の管理 ・ 布引山霊苑（瓜生津町：全923区画） ・ 能登川墓地公園（佐野町：全720区画）										2 墓地の管理 ・ 布引山霊苑（瓜生津町：全923区画） ・ 能登川墓地公園（佐野町：全720区画）									
	3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・ 布引山霊苑一般墓地（峠墓地）										3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・ 布引山霊苑一般墓地（峠墓地）										3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・ 布引山霊苑一般墓地（峠墓地）										3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・ 布引山霊苑一般墓地（峠墓地）									
	4 墓地等経営許可事務 2件										4 墓地等経営許可事務										4 墓地等経営許可事務										4 墓地等経営許可事務									
指標の年度目標値					0件					0件					0件					0件																				
事業の優先度					－					－																														
事業の財源					決算額		63,303千円		国庫支出金		0千円		予算額		国庫支出金		0千円				国庫支出金		0千円				国庫支出金		0千円											
									県支出金		0千円				県支出金		0千円				県支出金		0千円																	
									市債		0千円				市債		0千円				市債		0千円																	
									その他		9,847千円				その他		11,254千円				その他		11,254千円																	
									一般財源		53,456千円				一般財源		56,046千円				一般財源		56,046千円																	
職員数/人件費					正	1.13人	会計任	0.03人	7,648千円	正	0.96人	会計任	0人	6,641千円																										

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	0件	令和07年度の改善の取り組み	Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 市営墓地敷地内の修繕を行い、適正な維持管理を行った。 未承継の墓地利用者については、追跡調査を行い、承継を促すとともに、返還のあった墓地は再募集により墓地需要に応えた。	<改善内容> 市営墓地の適正な維持管理を行い、未承継墓地の承継を促しながら、返還のあった区画について、利用者の再募集を行う。 焼骨収蔵届の啓発を行い、未提出の抑制につながる方法を検討する。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
				現状維持	○	財源					
				見直して継続			拡大				
				拡大			現状	○			
				縮小			削減				
				事業統合		人員					
				手段見直							
休止・廃止		拡大		現状	○						
完了		削減									

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

令和06年度 事務事業評価

- 基本目標** :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策** :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 : 06 狂犬病予防対策の推進

事務事業名

狂犬病予防事業

指 標 名	狂犬病予防注射接種率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	453	
指標の目標値	64.0% 目標年（ 令和07年度 ）	算出方法		○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	生活環境課	
関 係 法 令 市 条 例 等	狂犬病予防法、滋賀県動物の保護及び管理に関する条例			関連計画	—	作 成 者	田中 和則	
事務事業概要	狂犬病の発生を予防するため、犬の登録と予防注射を行います。また、正しい犬の飼い方等について、飼い主へ啓発し、糞害の防止等を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
							大事業コード	020000
				款 項 目	040105			

令和06年度 事務事業実績

令和07年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和06年度					令和07年度					令和08年度					令和09年度						
	1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 534頭 ・狂犬病予防注射実施 4,213頭					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施						
	2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布 25件					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布						
	Plan 1																					
	Do 2																					
指標の年度目標値	63%					58%					59%					60%						
事業の優先度	B					B																
事業の財源	決算額 2,463千円		国庫支出金		0千円		予算額 3,011千円		国庫支出金												0千円	
			県支出金		0千円				県支出金												0千円	
			市債		0千円				市債												0千円	
			その他		2,463千円				その他												3,011千円	
			一般財源		0千円				一般財源		0千円											
職員数/人件費	正	1.64人	会計任	0.03人	10,481千円	正	1.51人	会計任	0.09人	9,363千円												

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価

指標の年度実績		Do 2	57%	令和07年度の改善の取り組み	Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分							
事務事業の改善内容 Check 3				<成果・課題> 犬の糞害に関する啓発として、自治会での看板設置の推奨、狂犬病予防集合注射会場で啓発看板を設置し周知を行った。 犬の新規登録、死亡届に関してオンライン申請の受付を開始した。 狂犬病予防注射接種率を更に向上する必要がある。	<改善内容> 犬の飼養方法に関する苦情に対し、県動物保護管理センターと連携し啓発指導を行う。 オンライン申請による手続きを拡充し利用者の利便性を向上させる。 犬の死亡届の啓発を適宜行い、更なる台帳整備を行うことで狂犬病予防注射接種率の向上を図る。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分			事業の方向性と資源の配分の内容		
						現状維持	○	財源	拡大				
									現状		○		
									削減				
									人員				
						休止・廃止			拡大			○	
						完了			現状				
			削減										

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標	:05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち	指 標 名	清掃美化活動の参加者数	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	1	
○基本的政策	:05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります	指標の目標値	1,000人	目標年（ 令和07年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	資源再生推進課	
○施策	:01環境美化の推進	関係法令 市 条 例 等	東近江市の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市自然環境及び生物多様性の保全に関する条例、東近江市生活環境保全及び公害防止に関する条例、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例、東近江市廃棄物不法投棄監視員要綱			関連計画	東近江市環境基本計画	作 成 者	杉島 和仁	
事務事業名 美化推進対策事業		事務事業概要	市民環境活動団体の活動を支援することにより、地域の環境美化の推進や地球温暖化防止に関する市民の意識の高揚を図ります。また、環境リーダーを養成することにより、環境啓発や環境教育活動の推進を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
								大事業コード	020000	
							款 項 目	040201		

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画											
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度				令和08年度				令和09年度			
	1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール 不法投棄監視員 34人 通報件数 79件				1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール				1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール				1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール			
	2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施 実施日数 916日 ・永源寺地区夏季パトロールの強化 実施日数 29日				2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施 ・永源寺地区夏季パトロールの強化				2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施 ・永源寺地区夏季パトロールの強化				2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施 ・永源寺地区夏季パトロールの強化			
	3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援 5月26日 ごみゼロ大作戦 愛知川八千代橋付近河川敷 7月2日 びわ湖の日 荒天のため中止（能登川漁港） 12月1日 環境美化の日 能登川カヌーランド周辺				3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援				3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援				3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援			
	4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの活用 ・市ホームページでの啓発				4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの活用 ・市ホームページでの啓発				4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの活用 ・市ホームページでの啓発				4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの活用 ・市ホームページでの啓発			
指標の年度目標値		900人			1,000人				1,000人				1,000人			
事業の優先度		B			B											
事業の財源		決算額 19,954千円		国庫支出金		0千円		予算額 21,596千円		国庫支出金		0千円				
				県支出金		3,125千円				県支出金		3,310千円				
				市債		0千円				市債		0千円				
				その他		81千円				その他		0千円				
				一般財源		16,748千円				一般財源		18,286千円				
職員数/人件費		正	2.01人	会計任	0.13人	13,117千円	正	2.12人	会計任	0.2人	14,490千円					

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価											
指標の年度実績 Do 2		123人	令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容 Check 3			<改善内容> 悪質な不法投棄に対応するため、多発している箇所へのパトロールを強化し、東近江警察署や滋賀県と連携して不法投棄の防止に取り組む。 監視カメラについては、一定の抑止効果が見込まれるため今後も引き続き活用する。			事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
						現状維持		財源	拡大 現状 削減		
						見直して継続					
						拡大					
						縮小					
						事業統合					
						手段見直		人員	拡大 現状 削減		
						休止・廃止					
						完了					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち		指 標 名	市民一人当たりのごみ量	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	63		
○基本的政策 :05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります		指標の目標値	780g/1日	目標年（ 令和07年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	資源再生推進課		
○施策 :02ごみの適正処理		関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市ごみステーション設置補助金交付要綱、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例、東近江市一般廃棄物最終処分場条例、東近江市一般廃棄物処理手数料の免除に関する要綱			関連計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画、東近江市一般廃棄物処理実施計画、東近江市災害廃棄物処理計画	作 成 者		杉島 和仁	
事務事業名		事務事業概要	廃棄物が適正に処理できるよう、ごみ袋の販売やカレンダー・ガス抜き器具の配布、また分別収集や集団回収を実施します。					予 算	会 計 名	一般会計	
廃棄物処理対策事業									大事業コード	030000	
									款 項 目	040201	

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画														
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度				令和08年度				令和09年度						
	1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 816件 2,185点 ・危険物回収及び処理 0.57t				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理						
	2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成						
	3 犬猫等死骸処理 298件				3 犬猫等死骸処理				3 犬猫等死骸処理				3 犬猫等死骸処理						
	4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合						
	5 ごみステーション設置・修繕支援 新設 5件 修繕 11件				5 ごみステーション設置・修繕支援				5 ごみステーション設置・修繕支援				5 ごみステーション設置・修繕支援						
	6 最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町) 搬入量 58.1t				6 最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)				6 最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)				6 最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)						
	7 小型家電リサイクルの実施 回収量 8.9t				7 小型家電リサイクルの実施				7 小型家電リサイクルの実施				7 小型家電リサイクルの実施						
指標の年度目標値					785g/1日					780g/1日					775g/1日				
事業の優先度					A					A									
事業の財源		決算額 1,676,977千円		国庫支出金		0千円		予算額 1,703,435千円		国庫支出金		0千円							
				県支出金		0千円				県支出金		0千円							
				市債		0千円				市債		0千円							
				その他		51,349千円				その他		65,076千円							
				一般財源		1,625,628千円				一般財源		1,638,359千円							
職員数/人件費		正	4.11人	会計任	1.04人	27,827千円		正	3.34人	会計任	0.85人	23,746千円							

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価													
指標の年度実績		Do 2	781g/1日		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> カセットボンベやスプレー缶、使い捨てライターなどの危険物回収及びリチウムイオン充電電池などの二次電池について、市役所本庁・支所窓口で回収を行う体制を取ることや、ごみカレンダーなどで丁寧に周知を行うことで、家庭ごみ収集におけるごみ収集車の火災事故を防止した。さらに市民にとってもより排出しやすい環境を整えるとともに、一層の啓発をチラシなどを通じて行った。また、粗大ごみ有料収集の予約について市公式LINEによるオンライン受付を実施した。		<改善内容> 危険物及びリチウムイオン充電電池などの二次電池回収について、市役所本庁・支所窓口で回収を引き続き行う。このことについて市広報紙などで丁寧に周知を行うことで、家庭ごみ収集におけるごみ収集車や清掃センターでの火災事故防止につなげる。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容		
							現状維持		財源		令和8年度以降 ・中部清掃組合ごみ処理施設の大規模修繕及び機械器具定期更新に伴う負担金の増 ・安土最終処分場閉鎖に伴う大阪湾フェニックス処分場への搬入手数料の増 ・大阪湾広域処理場第3期整備事業負担金の増		
							見直しして継続		拡大				○
							拡大		○	現状			
							縮小			削減			
							事業統合 手段見直し		人員				
							休止・廃止		拡大				
									現状		○		
完了		削減											

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和07年度 実施計画

◆

令和06年度 事務事業評価

○基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち		指 標 名	ごみのリサイクル率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	2		
○基本的政策 :05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります		指標の目標値	13. 9%	目標年（ 令和07年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	資源再生推進課		
○施策 :03循環型社会の構築		関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市生ごみ処理容器購入補助金交付要綱、東近江市リサイクル促進補助金交付要綱、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例			関連計画	一般廃棄物処理基本計画	作 成 者		杉島 和仁	
事務事業名 廃棄物減量化推進事業		事務事業概要	ごみの減量化と循環型社会の構築をめざし、資源回収、生ごみ減量に対する取組を推進するとともに、市民の活動を支援します。					予 算		会 計 名	一般会計
								大事業コード		040000	
								款 項 目	040201		

令和06年度 事務事業実績					令和07年度 実施計画																
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和06年度				令和07年度				令和08年度				令和09年度								
	1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進								
	2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポスト普及講習会の開催 41回 ダンボールコンポストの販売 768件				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及								
	3 生ごみ処理容器購入に対する補助 47件				3 生ごみ処理容器購入に対する補助				3 生ごみ処理容器購入に対する補助				3 生ごみ処理容器購入に対する補助								
	4 古紙等の資源回収に対する補助 140件				4 古紙等の資源回収に対する補助				4 古紙等の資源回収に対する補助				4 古紙等の資源回収に対する補助								
	5 廃棄物減量等推進審議会				5 廃棄物減量等推進審議会				5 廃棄物減量等推進審議会				5 廃棄物減量等推進審議会								
	6 エコフリーマーケットの開催支援 11月10日 市役所本庁駐車場				6 エコフリーマーケットの開催支援				6 エコフリーマーケットの開催支援				6 エコフリーマーケットの開催支援								
	7 食品ロス削減の啓発				7 食品ロス削減の啓発				7 食品ロス削減の啓発				7 食品ロス削減の啓発、食品ロス削減推進計画の推進								
指標の年度目標値					13. 1%					13. 9%					13. 9%						
事業の優先度					B					B											
事業の財源		決算額 3, 760千円		国庫支出金		0千円		予算額 7, 187千円		国庫支出金		0千円									
				県支出金		0千円				県支出金		620千円									
				市債		0千円				市債		0千円									
				その他		0千円				その他		0千円									
				一般財源		3, 760千円				一般財源		6, 567千円									
職員数/人件費		正		2. 05人		会計任		0. 13人		13, 468 千円		正		2. 12人		会計任		0. 1人		14, 089 千円	

評価

改善

方向性

令和06年度 事務事業評価											
指標の年度実績 Do 2		7.2%		令和07年度の改善の取り組み		Action 4	令和08年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 令和6年11月10日開催のエコフリーマーケットや1月24日のパソコン及びその周辺機器の回収イベントを開催することにより、ごみの減量及びリユース、リサイクルの取組を啓発することができた。 エコフリーマーケットと同時にフードドライブを実施した。 ダンボールコンポストを用いた生ごみの堆肥化を推進するため本事業を委託し、講習会の開催を通じて生ごみの減量を啓発することができた。 問合せの多い資源ごみの分別方法については、さらに分かりやすく周知していく必要がある。		<改善内容> ごみの減量及びリサイクルは、市民一人一人の意識の向上が重要である。食品ロスについては、食品ロス削減推進計画策定に向けた準備作業を行う。家庭で実践できるごみ減量について、広報紙や市ホームページ等を活用し、積極的に周知していく。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
						現状維持		○ 財源			
						見直して継続		拡大			
						拡大		現状			
						縮小		削減			
						事業統合		人員			
						手段見直					
						休止・廃止		拡大			
		現状									
		削減									